

第2回部長会議要約

日時	平成26年5月13日 午後3時～
場所	市役所別館3階会議室
出席者	中野市長、吉田副市長、馬場副市長、吉原教育長、塩野上下水道事業管理者、刈谷病院事業管理者、各部長
欠席者	行政委員会事務局長
案件	1 生涯学習部 ・自然体験学習施設の概要等について 2 議会事務局 ・市議会フェイスブックの開設について ・ユーストリームによるライブ中継の配信について
その他	1 総務部 2 政策推進部 3 学校教育部 4 会計管理室 5 病院事務局

【中野市長】

- ・ 5回にわたるタウンミーティングの方も無事5地区終了しました。ありがとうございました。本当に市民の皆さんは我々が思っている以上に市役所のことを存じないということを改めて感じました。そのことを教訓に、また（タウンミーティングを）やってほしいという要望も出ましたし、皆さんの仕事の日々の努力をまず見ていただくということから始まると改めて感じました。引き続き業務について透明性を高めて、6月議会が始まりますが、議会に対する徹底した説明、そういったことをこれからも推進していただきたいと思います。それと、着任してから1年が経ち、色々な庁舎の様子を見、新年度予算に多少の反映をさせてもらい、今年は水道、政策、教育という顧問の先生方にも来ていただいておりますが、そういった先生方のアドバイスやプランがこの1年間各担当部署に降りていく1年となる予定です。各部長においては、自分はこの方針、プロジェクトに対してどの部長、部局と共にやっていかなければならないかという横の部長とのつながりを踏まえて柔軟に対応していただき、来年その1つずつのプロジェクトを実行に移せるスムーズな形を取っていただきたいと思います。市長、副市長そして特別職、各部長、課長、係長の仕事の分担を今年さらに徹底させてもらいたい。それと最後、各部で抱えている職員にはまだまだあり余る能力がある。まだ時間的、体力的、能力的に余っていると思

われる職員をさらに発掘していただきたい。それを色々な作業、プロジェクトの中に、ポジションに関係なく使っていきたいので、その人材の発掘も重ねてお願いしたい。

案件1 生涯学習部

○ 自然体験学習施設の概要等について

【生涯学習部長】

- ・ 第1回部長会議では、施設の設置場所等の事業計画案について説明させていただきましたが、本日は自然体験学習施設について具体的にパワーポイントを使用して説明します。なお、施設の外観や配置につきましては、イメージであるということをご承知願います。それでは次長から説明します。

【次長兼社会教育課長】

- ・ 自然体験学習施設の概要等についてご説明申し上げます。まず、自然体験学習施設の設置概念は、柏原市の生涯学習の拠点及び野外教育の実践の場という位置づけで設置したいと思っております。社会教育施設は色々ありますが、社会教育課としての活動する拠点はなく、キャンプ場が廃止になり野外活動をしていく場所がなくなりましたのでここで一緒に設置したいと思っております。もう一つは、関係部局と共同して施設を活かしたイベントの会場拠点として色々な柏原のにぎわいを持ちたいというところです。設置をすれば公園の活性化により柏原市のにぎわい大阪ナンバーワン、教育環境の大阪ナンバーワン、子育て大阪ナンバーワンにつながると考えております。ここでは教育キャンプ場とは違って、いろんな講座の実施、歴史探索ハイキング等の事業、それから地元と共同して地元の野菜や果物の即売会の会場として活用していきたいと考えております。
- ・ 続きまして施設の内容ですが、まず中心となるセミナーハウスです。ここは各種講座の実施場所、地域活性化イベントの会場、それからテントサイト利用者の緊急避難場所。学習室は87.48㎡の大きさをイメージとしては今の小中学校の教室程度の大人が30名入って講座を受けることができる十分な広さの予定です。それと、シャワールーム2基、トイレ男女各1つずつで便器が2個合計4つを予定しております。テントサイトについては宿泊利用と日帰り利用、この2区分で、日帰り利用の部分だけバーベキュー利用可能で運営します。一つの大きさは4.5×7.5mの33.75㎡、5人用のテントを張ってテーブルを置いて日よけのタープを張れる十分な大きさを、10サイト設置予定です。それとテントサイト利用者用の炊事場は、設備としまして水道、調理台、かまどを予定しています。それとあと一つ、遊具広場を設置し3つに分けます。まずキンダーゾーンとして1歳から5歳程度を対象とした遊具を設置し、また小学生対象でチャイルドゾーンにメインとなります大型コンビネーション遊具を設置する予定です。そ

れと、地元の要望もあり、ヘルスアップゾーンとして健康遊具を入れたいと思っております。以上が主な内容です。

- ・ 次に運営方法ですが、テントサイトの基本運営は他市の状況を鑑み、テントやテーブル等キャンプ用品は有料で貸し出したいと思っております。宿泊期間については、5月から10月を予定しており、オープンする来年だけは備品等の設置関係で7月から10月ぐらいを予定しております。それから日帰り利用については通年利用していただく形です。それから協議中ですが、ペットの同伴も可能にしたいと考えております。
- ・ 次に施設の配置図ですが竜田古道の里山公園の入口に今現存している事務所、管理棟、駐車場、砂利道の臨時駐車場があります。そこにセミナーハウスを設置し、テントサイト10サイトを一番眺望の良い所に設け、そのすぐそばに炊事場を設けたいと思っております。次に、今山羊の飼育場所になっている部分は一番広い場所ですのでこれを取り除いて遊具を設置してお子さんから高齢者まで楽しめるゾーンを考えております。車は30台以上は置けるよう対応予定です。それから、地域から特に要望のありましたグラウンドゴルフコース、入口から入って管理棟、駐車場があり、桜が植えてありますが、合間を縫って8ホールのレイアウトが現状のまま草を刈るだけでできますので、ほぼお金をかけずにできます。ここは地元の活用と、グラウンドゴルフの愛好者が300から500人と多いので、定期的に月例会などを開いて活用してもらおうと考えております。次にイメージですが、セミナーハウスは1階平屋建てで、前にサンデッキを設置する予定です。炊飯場のイメージは羽曳野のグレープヒル公園に似た設備を作りたいと考えております。テントサイトは地盤改良してテントを張れるようにし、日除けの貸し出し、テーブルセット、バーベキューのコンロを入れます。予定ではこの横に通路を設けて道具を搬入しやすいようにし、自動車は入口の方において運搬用の台車等を準備して運んでもらう予定です。それから遊具のイメージです。メインとなる大型コンビネーション遊具は木製のものと耐久年数が悪いということで鉄製を考えております。これは1年生から6年生ぐらいが対象ですので、幼児には、たまたばこや玉手山公園に設置している非常に人気が高く値段もプラスチック製なのでかなり安いものと、コンビネーション型の滑り台、昇り棒で30万円程度のを置くことを考えております。そして健康器具はサンヒル柏原に置いている健康器具によく似た形で、安全規格の日本製を設置したいと考えております。それからグラウンドゴルフのイメージです。桜が法面にあり真ん中にコースを作ります。ここは草刈り機で草を刈ればすぐにも使えますので、スタート部分には人工芝を敷き、あとはゴールを設置するだけです。非常にきれいな場所ですので、十分活用していただいて自然体験学習施設を成功させたいと思っております。以上、よろしくお願い致します。
- ・ なお、今アンケート調査を実施しております。子育て支援とか保育所、幼稚園、小学校、そして一般も対象としており、その中間報告を申し上げます。まず、「竜田古道の里山公園をご存知ですか？」という質問で、220名取りましたが68%、約7割の市民

の方が存在を知らない、「知っているが行ったことがない」と答えた人が24%、「行ったことがある」と答えた人がわずかに8%ということで、今後公園の存在をもっとはっきりとしていきたいと思えます。それと、「学習施設が設置されたら行ってみたいですか?」という質問に対しては回答が55%でした。「遊具があつたら行きますか?」という質問には52%、これは子育て世代だけで80%から90%、これもものちほど社会教育課のホームページにアップしますので、よろしくお願い致します。

【生涯学習部長】

- それでは、引き続き追加説明です。まず、具体的にどのような利用者にどのような学習講座を開催するのかは、別紙でお渡ししております資料を参照してください。書かれている内容はほんの一部です。また、各部から色々アイデアがありましたらご提案ください。次に先ほどの説明のとおり、5月の連休明けからアンケート調査を実施しており、竜田古道の里山公園というのは10人中9人の方が利用されたことがなく、認知度、利用度が残念ながら皆無であるということがこれで明らかになりました。柏原市としてこの公園を活性化していくというのは責務であると考えております。「自然体験学習施設に行ってみたいか?」という中で、特に「柏原市には子供を遊ばせる公園がないので、是非作ってほしい」という子育て世代からのご意見、ご要望が多数寄せられ、今後のまちづくりのヒントになるのではないかと考えております。来週には高齢者の方も含めた集計結果を市のホームページで公表する予定をしておりますので、ぜひご閲覧ください。次に、4月25日に雁多尾畑会館において地元説明会を実施し、地元からは防犯カメラの増設など、安全面、防犯にはしっかりとさせていただきたいとか、火やゴミの始末は徹底してさせていただきたいとの意見が出ました。5月7日のタウンミーティングでも、主に安全面、防犯面、雇用面にかかるご要望とご意見が多数出ておりました。これらのご要望・ご意見につきましては、真摯に対応してまいる旨お答えしております。次にこれらの施設の管理運営に係るランニングコストですが、平成27年度直営で運営しますと歳出は、施設だけの管理運営についてですが1.5人分の人件費、光熱水費、通信運搬費及び消耗品費等で約300万~350万円。一方、歳入については土・日・祝日の稼働率を約40~50%と見込みますと、施設の使用料等で約50万円ぐらいとシミュレートしております。テントサイト・バーベキューエリアの貸し出しは5月から、セミナーハウスの貸し出しは7月からとしての見積もりです。また、条例関係の改正につきましては、現在関係部局と協議を進めており、第4回の市議会定例会において都市公園条例の一部改正を上程するという方向で現在は進んでおります。最後に、自然体験学習施設は従来の施設で実施できないユニークな学習内容を健常者も障害者も年齢を問わず提供できることから、生涯学習を推進する上で非常に大きなアセットとなるものと考えております。6月の市議会定例会で是非とも予算をご承認いただきたいと考えておりますので、理事

者及び部長の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。なお、明日午前10時から議会委員会室で2月に引き続きまして議員全員協議会を開催していただき、以上のような内容をご説明いたしたいと考えております。以上です。

【中野市長】

- ・ バリアフリーについて、本来しなければならないものを100とすると、どれぐらいの達成率になるか？

【生涯学習部長】

- ・ セミナーハウスへの進入はスロープで障害者の方も利用でき、障害者用のトイレも設置。公園の中のスロープ等については分かりかねるが、中に作る施設については障害者対応で考えている。

案件2 議会事務局

- 市議会フェイスブックの開設について
- ユーストリームによるライブ中継の配信について

【議会事務局長】

- ・ この度柏原市議会では、市民の皆様が開かれた信頼される議会の構築をするとともに議会の発信力を高めるために議会情報を発信し、市議会への関心の向上と議会活動の理解促進を図るため、次の取組を実施されます。まず第1点目、市民とりわけ20代30代のスマホ世代にスマートフォンやタブレット端末でいつでもどこでも市議会の今、活動状況を分かっていたいただき、市議会に興味を持ってもらうことができればということで、公式のフェイスブックを5月12日に開設しました。大阪府下の市町村では初の取組です。アクセス数は既に70件を超えており、今後多くの市民の方々のアクセスがあると思いますので、よろしく申し上げます。
- ・ 次に第2点目、ユーストリームによる本会議・委員会のライブ中継の配信により、市民にスマートフォンやタブレット端末からリアルタイムにいつでもどこでも本会議・委員会のライブ中継を視聴していただけるよう現在導入を検討しており、早ければ6月議会の常任委員会から配信をしていきたいと考えております。本会議についても、機器等を調整し、できるだけ早く配信したいと考えております。なお、市民への周知についてはホームページ、市議会だより、議会報告会、各議員の広報活動を通じて行われるとのこと。市議会では、今後も引き続き特別委員会を中心に議会活性化を進めていきますので、議会事務局としても全力でサポートしてまいります。よろしく申し上げます。

【政策推進部長】

- ・ 発信者は事務局か、各議員か？

【議会事務局長】

- ・ 主体は議会ということになるので、議会・議長の総意に基づいて事務局が指示に従って行う。

【政策推進部長】

- ・ 各議員が発信するということはあるのか？

【議会事務局長】

- ・ 各議員が個別に発信する場合は、基本的には公式行事で、議長の許可を得た場合に発信するということになるので、基本的には議長の公式行事や、議事の日程、各委員会の視察研修など公式の行事を中心に載せていく。

【中野市長】

- ・ 議会と同時に、我々行政サイドとしても広報中心にフェイスブックを含めたSNSの発信に、改めて再確認をお願いしたい。フェイスブックは双方向であり、発信者だけの都合では収まらない。市長部局側は今それに対応する返答等、できる限り早い対応ということで、すべてのコメントに対して今一度改めてその対応について身を引き締めてやっていただきたい。

案件3 その他

○ 総務部所管報告事項について

【総務部長】

- ・ 2点報告。1点目は、現在各課に1冊ずつ配置している市の例規集の冊子をこの第2回定例会の終了後の7月頃に解消し、今後は特別職や例規審査会に貸し出し用としてトータルで20冊程度の冊子上の例規集の更新とするので、できるだけ例規検索システムをご利用いただきたい。システムは利便性も高く、また今回の変更により委託料の削減も図れることから、ご利用、ご理解をいただきたい。2点目は、定例会における事前の議案書配布冊数を変更させていただきたい。質問通告書に準じて議案書についても第2

回定例会からPDF化をして全部の職員が見ていただけるようにサイボウズの掲示板、総務課の文書管理に掲載し、ペーパーレス化を進めるという観点からも、議案書の配布を現状の課長級以上から部長級以上に変更させていただきたい。皆様のご理解、ご協力をお願いします。

○ 政策推進部所管報告事項について

【政策推進部長】

- ・ 不当要求などの行政対象暴力に関する事案につきまして、本年4月1日よりまちづくりデザイン部配属の大阪府警OBの村上氏に一次的な相談窓口として対応いただくので、関係機関との連携等迅速な対応に心がけていただくようお願いします。それからもう1点、行財政関連ですが、柏原市行財政健全化戦略の取組の中で今年度平成26年度は5年間の集中取組期間の最終年度となることから、馬場副市長をトップとして健全化戦略会議の再開をします。戦略会議においては、民間活力の導入また事業規模の適正化、使用料や手数料といった受益者負担の適正化、収益向上等について検討してまいります。課題ごとに各関係部長に入らせていただいて協議していきたいので、ご協力をお願いします。

○ 学校教育部所管報告事項について

【学校教育部長】

- ・ 昨年の市長マニフェストおよび市政運営方針で掲げておられました柏原版の教育基本計画が昨年度末の3月に完成をしたので、各部長に配りました。ご一読をお願いします。

【中野市長】

- ・ 政策推進部長から報告のあったまちづくりデザイン部の配属の村上氏、まちづくりデザイン部に席を置いていただいているが、病院を含めた全部署部長級がすべて村上氏とすぐ連絡が取れるような体制にしておき、警察等へ報告しなければならない事案あるいは色々と相談事項があれば、一声相談を掛ける体制を日常化してほしい。

○ 会計管理室からの依頼事項について

【会計管理室長】

- ・ 平成25年度の企業会計を除きます各会計の執行は5月30日をもって出納閉鎖します。現在の進捗状況は、今週16日で支払いを閉鎖します。調定関係の方が現在まだ半

数程度で、特に福祉関係の方で実績報告は提出しているが確定通知がまだで未調定という状態があるので、確定したら早急に調定の方をお願いしたいのと、同一に26年度の歳入も調定が決定次第提出していただくようお願いいたします。

○ 柏原病院事務局からの依頼事項について

【病院事務局長】

- ・ 6月14日土曜日、リビエールホールの小ホールで市民公開講座を開催します。6月14日午後2時から2時間、内容は、新しく来られた佐藤病院長代理から「内視鏡治療」、整形の船越副院長から「腰痛について」、皮膚科の吉田先生から「フットケアについて」と3題の演題です。皆さんご参加よろしくお願ひします

【司会者】

- ・ これで終了させていただきます。